

- 「ニセ電話詐欺」は、その態様により次の3つに分類されます。
- ① 架空の事実を口実とした料金などを請求し、お金や電子マネーの利用権をだまし取る「**架空請求詐欺**」
 - ② 息子や孫・警察官をかたってお金をだまし取る「**オレオレ詐欺**」
 - ③ 医療費などの返還を口実としてお金をだまし取る「**還付金詐欺**」

被害に遭わないために

「ニセ電話詐欺」とは、身内や警察官・会社員などいろいろな立場になりましたニセ者（犯人）が、電話などを悪用して行う詐欺のことです。茨城県警察で認知した被害額は減少傾向にあるものの、発生件数は年々増加し、今年も昨年よりも被害額・件数とも増加しています。

還付金があります…

ニセ電話詐欺に

注意ください！

お問い合わせ…交通防犯課防犯対策グループ ☎内線493

オレオレ！

母さん助けて！



被害に遭わないために、皆さんに「家族の絆で被害防止」「在宅中でも電話は留守番電話設定」「騙されたふり作戦への協力」「警察相談専用電話#9110へ相談」をお願いします。

ニセ電話詐欺 認知件数・被害金額の推移



実際の還付金詐欺に遭遇 —市内在住の塚本裕さん—



5月に還付金詐欺と思われる事件に実際に遭遇したというのは、市内在住の塚本裕さん。ATMで順番待ちをしていたところ、前の女性が携帯電話の指示に従って振り込みをしようとしていたのを不審に思ったそうです。

塚本さんが居合わせた銀行職員に通報し、職員が女性に代わって相手と話し始めたところ、突然電話は切れたそうです。女性によると、「市からの還付金を受け取るために、ATMを操作していた」とのことで、相手は銀行職員を名乗っていたそうです。

怖いのは、この女性が**お金を振り込んでいるという意識もなく、振り込みの操作を行っていたこと**。犯人は言葉巧みに被害者の警戒心を緩め、現金の振り込みに誘導します。「まさか自分が」という意識を捨て、「自分がいつ被害者になってもおかしくない」という危機意識を常に持ち続けることが大切です。



還付金詐欺を未然に防いだとして神賀浩一竜ヶ崎警察署長から感謝状を受ける塚本さん